

11月の園だより

令和８年１１月２日
目黒区立中央町保育園園長

木々の葉が紅葉し、秋の深まりを感じる頃となりました。散歩に行った子どもたちは拾ったどんぐりを手にして大切に園まで持ち帰ると「どんぐり見つけたよ」と嬉しそうに見せてくれました。色づいた落ち葉や様々な形のどんぐりやクヌギの実など、子どもたちにとって貴重な宝物なのでしょう。「ママに見せるんだー」と大切な宝物を保護者の方に見せて一緒に喜んでもらえることを楽しみにしているようです。

先月から０歳児、１歳児、２歳児クラスも中町保育園との保育交流を始めました。０歳児が園庭で中町保育園の０歳児クラスと交流した日のこと。同じ色の帽子をかぶっている初めて見る友達に、「見たことないなぁ」という表情の子どもたちは、初めは遠巻きに見ながらも中町保育園の子どもが小屋の中へ入って行くと「何してるのかな？」と気になり近づいています。小屋の中へ入るとお互いに相手をジーッと見ながらも、友達が着ているシャツの絵を指さしたりニッコリ笑ってみたりして徐々に距離が縮まっているのです。０歳児なりに初めて会う友達とコミュニケーションを図ろうとする姿に驚きと成長を感じ、今後の交流が楽しみになりました。



今月は統合に向けての説明会を予定していますので、各クラスの交流の様子をお知らせしたいと思っています。ぜひご出席いただきますようお願いいたします。

【１１月の予定】
統合説明会
交通安全教室（幼児クラス）
中旬頃　身体計測・避難訓練

煙体験の様子（幼児クラス）



園庭に大きなテントができると子どもたちはわくわくしている様子でしたが「煙を吸わないように」と説明を聞くと、真剣な表情に変わっていました。さらに、テントの入り口を開け中から煙が出てくると「ちょっと怖い」と後ずさりする子もいましたが「みんなで一緒に行こう」としっかり口を帽子で覆って進んでいました。









秋の散歩「楽しいことみつけた」

０歳児クラス



散歩に出かける準備をし、バギーに乗せてもらうと“楽しいことが始まるね”と笑顔を見せています。歩行が始まった子どもたちも「お散歩に行こう」と声を掛けられると、保育士と手を繋ぎ張り切って出発です。先日出掛けたスマイルプラザでは、何度も往来する電車や近くで動く工事車両を見つけて「あっ」と電車を指差して、嬉しそうに保育士に知らせてくれました。ボールコートに着くとコート内を行き来しながらも、落ちている小石に気づき拾ってじっと見つめたり、近くに生えている草を触ってみたりと、様々なことに気づき探索を楽しんでいました。散歩中に見るもの一つひとつが新鮮で、見つけた喜びや“なんだろう”という不思議で溢れていることを感じます。これからも散歩を通して、見たり、触れたり、音や匂いを感じたりと、戸外ならではの発見や楽しさを一緒に経験し、気持ちに共感しながら興味を広げていきたいと思います。

１歳児クラス

「お散歩行こうね」の保育士の言葉に「うま、みる」と出発前からポニーに会えることが楽しみな子どもたちは、碑文谷公園への散歩で虫探しや走ることも大好きですが、ポニーを見ることが一番の楽しみになっています。「フェラーリくんいるかな？」とポニーの名前をしっかり覚えていて、お気に入りのポニーに会えるととても嬉しそうに見つめていました。先日、引馬体験をしている様子を近くで見てきました。いつもは草を食べている場面を見ることが多いのですが、ポニーが歩いている姿を目にして子どもたちは興味津々です。普段見ることができない後ろ姿に「しっぽしろいね」「ふわふわだね」と新たな気付きがありました。これからも散歩を通して子どもたちの発見や気付いたことを一緒に喜び、楽しみながら関わっていきます。



２歳児クラス





久しぶりに中央緑地公園に行くことを伝えると「どんぐりあるかな」「虫いるかな」と足取りも軽く楽しみな気持ちが伝わってきます。公園に着くとそれぞれが袋を手に持ち「あ、どんぐり」「みて、いっぱい」と、どんぐりや赤や黄色の落ち葉を保育士に見せながら、袋が破けそうになるくらい集めることに夢中になっています。「どんぐりの帽子」「赤ちゃんどんぐりもあるよ」と話す友達の声が聞こえると、興味津々で近づき「どこどこ？」「見せて」と皆で集まっておしゃべりを楽しんでいる子どもたちです。沢山のどんぐりが落ちている木の根元にきのこが生えていて「きのこどんぐりだ」と命名しながら、頭をくっつけ合ってじっと見つめていました。友達や保育士と見つけたものを一緒になって驚き、楽しさを共有しながらこれからの秋の自然もたくさん味わっていきたいと思います。